

アイヌ政策の概要（平成25年度政府案）について

平成25年1月29日

内閣官房アイヌ総合政策室

（注1） [] の数字は、対前年度比を表す。

（注2） 予算額を特定できない施策は、施策名のみ記載。

1. 「民族共生の象徴となる空間」の具体化

○博物館の整備・運営に関する調査 24百万円 [4.21]

【文部科学省】

- ・博物館の整備・運営に関する「基本構想」及び「基本計画」策定に向けた調査検討のための委員会開催等。

○文化施設周辺の公園的な土地利用に関する調査 10百万円 [1.25]

【国土交通省】

- ・文化施設周辺の公園的な土地利用に関する基本構想調査の実施。

2. アイヌ文化の振興、普及啓発

○アイヌ文化振興財団への補助 329百万円 [1.06]

【国土交通省・文部科学省】

[うち国土交通省 121百万円、文部科学省 207百万円]

アイヌ文化振興法に基づき、アイヌ文化の振興及びアイヌの伝統等に関する普及啓発を図るため、指定法人であるアイヌ文化振興財団に対して補助金を交付。

主な新規・拡充事項は次のとおり。

・「イランカラプテキャンペーン」の推進 16百万円 [新規]

【国土交通省】

アイヌ語の挨拶「イランカラプテ」の表示による歓迎や、公共の場における展示の拡充等の普及啓発を、多様な主体と連携し、「イランカラプテキャンペーン」として展開。

・アイヌ民話の“定番”絵本の刊行 2百万円 [新規]

【国土交通省】

「桃太郎」や「浦島太郎」に相当する、アイヌ民話の「定番」を集大成した絵本を作成し、幼児期において、アイヌ文化等に身近に触れる機会を充実。

・学校へのアドバイザー派遣の充実 16百万円 [1.57]

【文部科学省】

アイヌ文化に関するアドバイザーを学校へ派遣し、生徒に対する舞踊や音楽等の指導・実演を行う機会を充実することでアイヌ文化の理解促進に資する。

・アイヌの伝統的生活空間（イオル）の再生 57百万円 [1.06]

【国土交通省・文部科学省】

白老地域、平取地域、札幌地域に加え、新たに新ひだか地域において、アイヌの伝統的生活空間（イオル）を再生し、アイヌ文化の普及啓発、伝承活動を推進。

○危機的な状況にある言語・方言の活性化・調査研究

・アイヌ語の保存・継承に必要なアーカイブ化に関する調査研究 8百万円 [新規]

【文部科学省】

ユネスコが指摘した危機的な状況にある言語等のうち、最も消滅の危機に瀕しているとされているアイヌ語の音声データを収集・分析し、アーカイブ化に関する調査研究を実施。

3. 北海道アイヌ生活向上

アイヌの人々の社会的・経済的な地位の向上を図るため、北海道が実施するアイヌ生活向上関連施策の推進を支援。

- 修学の支援（高校生、大学生等に対する奨学金等） 1 3 2 百万円 [1.09]
【文部科学省】
- 雇用・生活の安定（職業相談等の就職支援、生活館の運営等） 1 6 0 百万円 [0.98]
【厚生労働省】
- 農林漁業の振興（経営近代化施設の整備等に対する補助） 2 5 3 百万円 [0.90]
【農林水産省】
- 中小企業の産業振興（民工芸品展示会、研修会開催等に対する補助） 7 百万円 [1.00]
【経済産業省】
- 生活環境の改善（住宅新築資金等の貸付事業に対する支援） 【国土交通省】

4. その他

- アイヌの人々の人権擁護の観点からの啓発 4 百万円 [1.00]
【法務省】
 - ・アイヌの人々に対する偏見や差別をなくすため、インターネットのバナー広告を活用し、アイヌの人々に対する国民理解を促進。
- アイヌ政策推進会議の開催等に係る経費 2 6 百万円 [0.80]
【内閣官房】
 - ・アイヌ政策推進会議の開催等により、総合的・効果的なアイヌ政策を推進。
- 北海道大学におけるアイヌ・先住民との文化的共生に関する総合的研究 【文部科学省】
 - ・北海道大学において、アイヌ・先住民に関する総合的・学際的研究を実施（平成 24～27 年度の 4 か年計画）。
- 標識等におけるアイヌ語地名や地名由来の表記促進 【国土交通省、環境省】
 - ・河川名標識や国立公園内の標識等において、アイヌ語地名や地名由来の表記を促進。

合 計

- 平成 2 5 年度アイヌ政策関係予算政府案 9 5 4 百万円 [1.01]
(注) 上記の施策のうち、予算額を特定できない施策の予算額は含んでいない。